

すすきの・花の館のレポート 2000年9月

さて、久々のレポートです。(^^; 例年の通り、札幌競馬ツアーということで3泊4日の日程で遊んでまいりました。いつも一緒のおじさんが今年は仕事の都合でこれなくなり、単独行動ということになりました。まずは、初日から・・・

■札幌へ

遅い夏休みを利用して、金曜日の午後便で羽田から千歳へ。3時過ぎに千歳着。4時過ぎには札幌到着。うーん、今年もやってまいりました。(うふふ) 地下鉄・南北線で中島公園まで行き、とりあえずホテルにチェックイン。結構新しく綺麗なホテルでした。お部屋はこんな感じ。コンビニで買ってきた雑誌(すきパラ・シティヘブン)と新聞(競馬ね)をパラパラとめくりながら眺めつつ、休憩しているとお腹が空いてきましたので、食事を兼ねてすすきのへ(^^;

■すすきの・すすきの

ホテルのある中島公園からすすきのまでは徒歩で5分～10分。駅前通りをすすきのに向かって歩いていくと、ネオンがキラキラと綺麗だこと。あー、帰ってきたんだあ(おいおい) とりあえず、かるく汗を流してからビールでもということでロビンソンのあたりをうろちょろしておりますと・・・いかにも観光客ばい、わたしを目ざとく見つけたポンちゃんらしきおにーちゃんが寄ってきそうだったので、携帯電話攻撃でサッサと逃げちゃいました。(携帯で話してる振りをするさすがに寄ってこないねえ)で、気がついたら、花の館にはいってありました・・・(なぜだ!!)

■なぜに？

特にかわいいこがいた記憶もないのですが、なんとなく花の館には毎年きているような気がします。はいりやすいのかなあ？ お部屋が意外と綺麗なんで気に入ってるのと、90分で20Kという安さに惹かれているのでしょうか？ 40分で10Kのお店ですとどーにも時間が短すぎて調子がでないケースがあるので最初は90分コースのお店ということで無意識に選んでるようですね。(野性の勘ですねえ)

■お店へ

と妙な感想はともかく、お店は2Fですので階段をあがって受付へ。なぜか、受付には2人いてひとりはかなりぼっちゃりしたおねーさん。もう1人はおばちゃんがありました。おねーさん「指名はございますか？」ロビン「ないけど。若い子がいいなあ。できればスリムな子」おねーさん、ちょっとむっとしたかも・・・(^^; おねーさん「コースはどちらにします？」ロビン「90分コースで」おねーさん「では、こちらで20000円お願いします。」受付を済ませて、すぐ横の待合室(これがせまい個室になっておまして)でTV(オリンピックやってましたねえ)を見ながら5分ほどですぐご案内でした。

■ご案内

待合室をですぐの階段のところで、女の子とご対面。おー、スリムな女の子です。21～22才くらいかなあと思いニコニコしていると、腕を絡ませてきてお部屋へご案内でした。(おっ、いいねえ) お部屋は階段を1つ上がって3Fでした。

■お部屋は

フロアはもうひとつ上の階も使っているようで8部屋くらいありそうでした。部屋によって多少広さが違うようですが、わたしの入った部屋はまあ中くらいの広さだったようです。90分20Kのお店としては十分な広さですし、わたしが吉原で行っているお店よりははるかに広く、ベットも大きいものです。まあ、お部屋とHするわけじゃないからいいんですが、ベットはある程度の広さがほしいですわねえ。

■で、さっそく

お部屋に入るなり、ベットに座っていると自己紹介も済まないうちに女の子が隣に座って、わたしのお手手をさすりながらもたれかかるように甘えてくるではありませんか！！ おお、いいじゃん。そんなに美人でもかわいーってほどでもないし、よくみるとスリムというよりは、ロリ体型というのが正解のような（あっ、XXXさん向きだ）女の子なんです、なんかいいです。（おいおい、なんなんだよ）こうなると、じゃあさっそくということで・・・

■まずは責めちゃおうかなと。

ロリ体型の女の子と服を脱がせっこした後は、そのままベットに押し倒して指・舌を使ってツンツン・レロレロと先制攻撃です。ベットの正面と天井には鏡がありまして、あらーHですねえ。と、あれこれ責めているうちに女の子からかわいー声が・・・（うふふ）やる気になりますなあ、これは。調子にのってそのまま責めていきますと、「もうだめっ」て言うものですから、はい合体。おっ、ヌルヌルですねえ。反応もすごくいいせいかついついはり切り過ぎて、ガンガンにいってしまいました。ちと飛ばし過ぎて、二人ともぐったし・・・（ふう）そのままベッドでちょっと抱き合ったまま休憩。

■お風呂へ

5分ほど休憩して、女の子がお風呂にはいるーというので一緒にチャブチャブしながらいちちゃついているとロリ子ちゃん「うちのお店ははじめて？」ロビン「いや、去年もきたから」ロリ子ちゃん「ふーん」ロビン「毎年、今ごろ夏休みで東京から遊びにきてるんだよ。」ロリ子ちゃん「そうなんだあ。東京から来てるんだ。」ロビン「ロリ子ちゃんは北海道出身なの？」ロリ子ちゃん「うん、札幌生まれの札幌育ちよ。」と、屈託のない様子であっけらかんとしているところは北海道の女の子らしくていいですねえ。まだ、お店に入って間もないらしいのですがマットを勉強中とのことで、あーそれならやってみてよーということになりロリ子ちゃん「うふふ、きもちよくしてあげるね。」ロビン「お手並み拝見」

■マットはどうか？

ロリ子ちゃんがマットの準備をしているのを湯船につかりながら眺めていましたが、どーみても動きがぎこちないです。うーむ、ちょっと心配・・・でもなぜか楽しみだったりする。（ふふふ）ロリ子ちゃん「はい、準備OKです。最初はうつ伏せね。」ロビン「はいはい。」ロリ子ちゃん「すべるから気をつけてね。」（うんうん、大丈夫よ。あなたよりわたしのほうがマット上手だわさ。）ロリ子ちゃんのルンルンマットですが、あははは・・・マットから落っこちそうなので、こちらのほうが冷や冷やという状態でしたが、一生懸命な感じで、わたしが上を向いたときに抱き着いてそのままくっつく攻守をいれかえちゃいました。ロリ子ちゃん「あらら・・・」ロビン「ボクが上になるね。気持ちいいでしょ。」（と、いつもの手で逆マット状態です。）ロリ子ちゃん「・・・うん、気持ちいい」ここからは先ほどのベットとは違いやさしく責めてあげました。（うふふ）あー、おやじはいつてきてるなあ。いかんねえ。ロリ子ちゃんがいつてし

まった様なので、いったんお風呂に入り休憩へと。

■ちと、休憩

お風呂に入っている間にロリ子ちゃんがマットと格闘（片付けてるのね）を しているので黙ってみていると ロリ子ちゃん「XXさんって東京じゃ遊びまくってるんでしょ？」ロビン「・・・いや、そんなことないよ。」「札幌に来たときくらいだよ。こんな風に遊ぶのは。」（大うそつきだぁー）ロリ子ちゃん「そうなんだぁ。そうは見えないけど・・・」ロビン「普段はものすごく真面目なんだよ。あははは」ロリ子ちゃん「ふーん。」（あっ、信じてない・・・）でお風呂から上がって、コーラ（ペプシだった）をもらい、ゴクゴク。 ベットに大の字でゴロンとなっていると、ロリ子ちゃんは横にすりよって きて、ペタペタ。 あー、かわいい。こーいうのがいいんだよねえ。仕事なんかできなくても いい。くそくらえだぁ。 思わず、いい子・いい子しちゃいます。うん、かわいい。

■もう一度

ロリ子ちゃんを腕枕で抱えている姿が天井の鏡に映っているのに気がつき なんだかムラムラしてきたので、そのまま上になって第2ラウンド開始です。今日は元気だ。もう止まらない・・・ ということで第2ラウンドもガンガンでございました。 内容についてはご想像におまかせします。 とにかく、息も絶え絶えの状態でベットに倒れこんでしまいましたから。

■お上がり

最後に軽くお風呂に入り、シャワーで流してもらったところで電話が・・・ 早いナァ、やはり120分コースに慣れてしまったせいか、90分だと足 らないというか、バタバタですね。 なんだか名残惜しいまま、お別れとなってしまいました。 裏を返そうと思って出勤日を聞いたのですが、この後はしばらく公休との ことで、残念無念。（むーーーーー、札幌にのこりたーい。）

■最後に

見た目には美人でもそれほどかわいくもなかったし、スタイルもロリ体型 で、うーんどうなるのかなって思ったのですが、札幌初日ということで、 妙に盛りあがってしまいました。 なんか、おじさんが夢中になってしまうタイプの女の子だったのかもしれない。 来年はいないだろうな。まあ、しょうがないか。 その後はいい気持ちで、食事にでかけました。いやビールがうまいこと。 ちなみにお店は毎年きている、狸小路の炙屋でした。 ということで、初日はおしまい。